

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT

大阪産業局 メディアガイド

MEDIA GUIDE

大阪産業局が
大阪広報局に
なるしかない



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A.

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

大阪産業局

メディアガイド

- | | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 大阪産業局とは | P2 |
| 2 | 団体概要 | P3 |
| 3 | 組織が持つネットワーク | P5 |
| 4 | メッセージ | P6 |
| 5 | 事例集 | P7～ |



大阪産業局とは

大阪府内の中小企業の健全な創出と育成を促すことで、活力ある大阪経済の発展に貢献することを目的に、平成31年4月に府と市の支援機関が合併して生まれた公益財団法人です。



理事長挨拶

平成31年（2019年）4月1日、大阪府・大阪市の産業支援機関である、大阪産業振興機構と大阪市都市型産業振興センターが統合され、大阪産業局が発足いたしました。

創業支援や大阪の企業の99%を超える中小企業の経営力強化などに、私のこれまでの経験を活かし、大阪経済が元気になるためお役に立てばとの思いで、理事長をお引き受けすることといたしました。

大阪産業局が実施する事業やサービスについて、広く周知に努めているものの、コロナウイルス感染症などの影響もあり、活動が制約され、まだまだ広く大阪産業局やその取り組む事業が浸透していないのが現実であります。

広く中小企業の経営相談、DX支援、国際化支援をはじめ、創業・スタートアップ支援、ものづくり企業やクリエイターに向けた支援など、さらには、「大阪・関西万博」を大阪の中小企業にとって大きなビジネスチャンスと捉え、そのチャンスを最大限活かせるよう、努めてまいります。



理事長 立野 純三

昭和22年生まれ。甲南大学卒業後、(株)青木建設入社。昭和48年、(株)ユニオン入社。平成2年、同社代表取締役社長。大阪商工会議所副会頭、(公財)ユニオン造形文化財団理事長、学校法人甲南学園理事・評議員、学校法人エール学園理事、大阪市教育委員会委員長（平成19年～20年）など要職兼務

大阪の中小企業の現状と産業局の強み

大阪の中小企業は、全企業の99.6%(約27万社)を占め、約274万人の雇用を生み出しています。大阪経済の基盤をなす中小企業の発展なくして、大阪経済の発展は実現しえません。

大阪産業局では、業種も課題も違う中小企業の支援プログラムを企画するため、様々な分野の民間企業の経験やスキル、人脈を持ったスタッフを擁しています。この人材と、これまでの支援事業で培った知見、ネットワークこそが財産です。

中小企業や起業家の課題解決のため、創業・スタートアップ、人材戦略、販路開拓、国際化、ものづくり、技術力強化などの支援テーマに対応できる組織構成として事業を行っています。また、府・市の産業振興施策の実行団体として府市とも連携し、時宜に合わせた事業実施のための予算、基金を用いることができる公益財団法人です。

大阪経済を支える中小企業の発展の一助となるよう活動していますので、中小企業・起業家の皆さんに積極的に産業局をご利用いただき、そうした頑張る中小企業の姿をお伝えできればと思います。



大阪府全体における中小企業の割合
中小企業庁 中小企業白書2025より

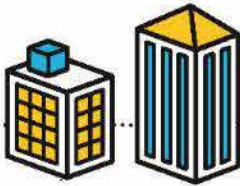
	経営相談	販路開拓	技術力強化	新事業創出	創業	海外展開	事業承継	製品開発・マーケティング	設備の新設更新	人材戦略	インキュベーション・賃貸工場	展示場・会議室
企業支援事業部	●	●	●	●	●	●	●					A
クリエイティブ産業推進部											●	B・C
HR戦略部							●			●		D
産業振興部	●			●	●	●	●					A
MOBIO事業部		●	●									E
設備支援部					●				●			I
国際事業部		●				●						F・I
スタートアップ支援事業部				●	●	●						G
クロステック推進部			●	●	●			●			●	H
万博共創ビジネス推進部												I
施設運営部											●	A・I・J

【運営支援拠点】

- A 大阪産業創造館 B クリエイティブネットワークセンター大阪メビック C 大阪デザイン振興プラザ
D OSAKAしごとフィールド中小企業人材支援センター E MOBIO F 上海事務所
G 大阪イノベーションハブ H ソフト産業プラザTEQS I マイドームおおさか J テクノシズ泉尾

団体概要

組織概要



団体名	公益財団法人 大阪産業局
主たる事業所	統括室 総務部 マイドームおおさか：大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか7階 大阪産業創造館：大阪市中央区本町1丁目4番5号 大阪産業創造館13階
設立年月日	平成31年4月1日
設立目的	大阪の中小企業等の経営力強化や創業支援等の事業を行うことにより、府内中小企業等の健全な創出及び育成を図り、もって活力ある大阪経済の発展に寄与することを目的とする。
事業	① 中小企業等の支援に関する事業 ② 施設の管理運営に関する事業 ③ その他この法人の目的を達成するために必要な事業
基本財産	2,541,280千円
所在地	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号

役員名簿

理事長	立野 純三	大阪商工会議所 副会頭/(株)ユニオン 代表取締役社長
専務理事	角谷 禎和	
常務理事	村上 和也	
	上野山 泰成	
	太田 雄士	
理事	多賀谷 元	
	中西 竜雄	中西金属工業(株) 代表取締役社長
	中野 智哉	(株)i-plug 代表取締役社長
	フォーリー 淳子	大同門株式会社 代表取締役社長
	長沢 伸幸	一般財団法人大阪国際経済振興センター 理事長
監事	上田 実千代	有限会社 オフィスウエダ 代表取締役
	三谷 英彰	三谷公認会計士・税理士事務所 代表
評議員	新井 純	大阪信用保証協会 理事長
	井内 摂男	大阪商工会議所 専務理事
	池田 純子	大阪府商工会連合会 専務理事
	岡本 圭司	大阪市 経済戦略局長
	小林 哲彦	(地独)大阪産業技術研究所 理事長
	庄 秀輝	(独)日本貿易振興機構 大阪本部長
	辰田 昌弘	辰田法律事務所 代表
	馬場 広由己	大阪府 商工労働部長
	本多 哲夫	大阪公立大学大学院 経営学研究科 教授
会計監査人	有限責任あずさ監査法人	

団体概要

施設概要



大阪産業創造館

企業経営や起業に役立つ事業、ビジネスセミナーや商談会、交流会など多種多様なサービスで中小企業のビジネスをサポートしている大阪市の中小企業支援拠点

〒541-0053
大阪市中央区本町1-4-5
<https://www.sansokan.jp/>



大阪デザイン振興プラザ

クリエイター向けインキュベーションオフィスの提供や、セミナー等のイベントを開催。創業期からベテランまで対応するクリエイター支援拠点

〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟10F
<https://www.osaka-design.co.jp/>



大阪イノベーションハブ

まだ世の中にない革新的なサービスや、ビジネスの立ち上げに取り組む起業家やスタートアップが集まり世界に向けて挑戦するイノベーション創出拠点

〒530-0011
大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪
ナレッジキャピタルタワーC 7階
<https://www.innovation-osaka.jp/ja/>



マイドームおおさか

大阪の中心部、堺筋本町にありアクセス抜群の大規模都市型展示場施設。様々な用途に対応可能な多彩な会場

〒540-0029
大阪市中央区本町橋2番5号
<https://www.mydome.jp/>



クリエイティブネットワークセンター大阪メビック

クリエイターと企業とのネットワークづくりをサポート、大阪で活動するクリエイティブビジネスの中核的支援拠点

〒541-0053
大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館17F
<https://www.mebic.com/>



MOBIO / モビオ(ものづくりビジネスセンター大阪)

国内最大級の常設展示場をはじめ、ビジネスマッチング、販路開拓、産学連携相談などの支援を行うものづくり企業の総合支援拠点

〒577-0011
大阪府東大阪市荒本北1-4-17 クリエイション・コア東大阪北館
<https://www.m-osaka.com/>



ソフト産業プラザ TEQS(テックス)

咲洲エリアにあるテックビジネスに特化した支援施設。全国的にも珍しい官民連携による5Gラボの運営や先端技術を活用したビジネスの支援を実施

〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟 6階
<https://teqs.jp/>



テクノシーズ泉尾

多様なニーズに対応できる、従来の賃貸工場のイメージを払拭させた中小ものづくり企業の為の複合工場拠点

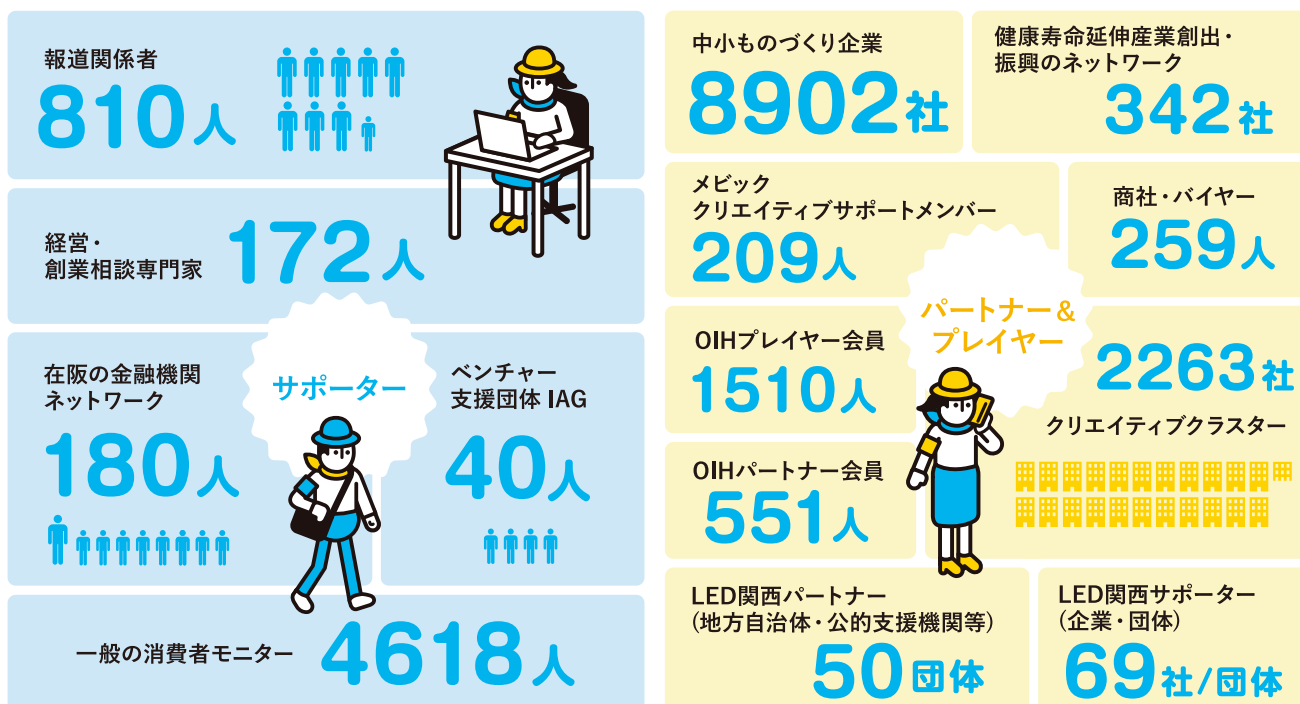
〒551-0031
大阪市大正区泉尾6-2-29
<https://www.obda.or.jp/jigyo/izuo.html>



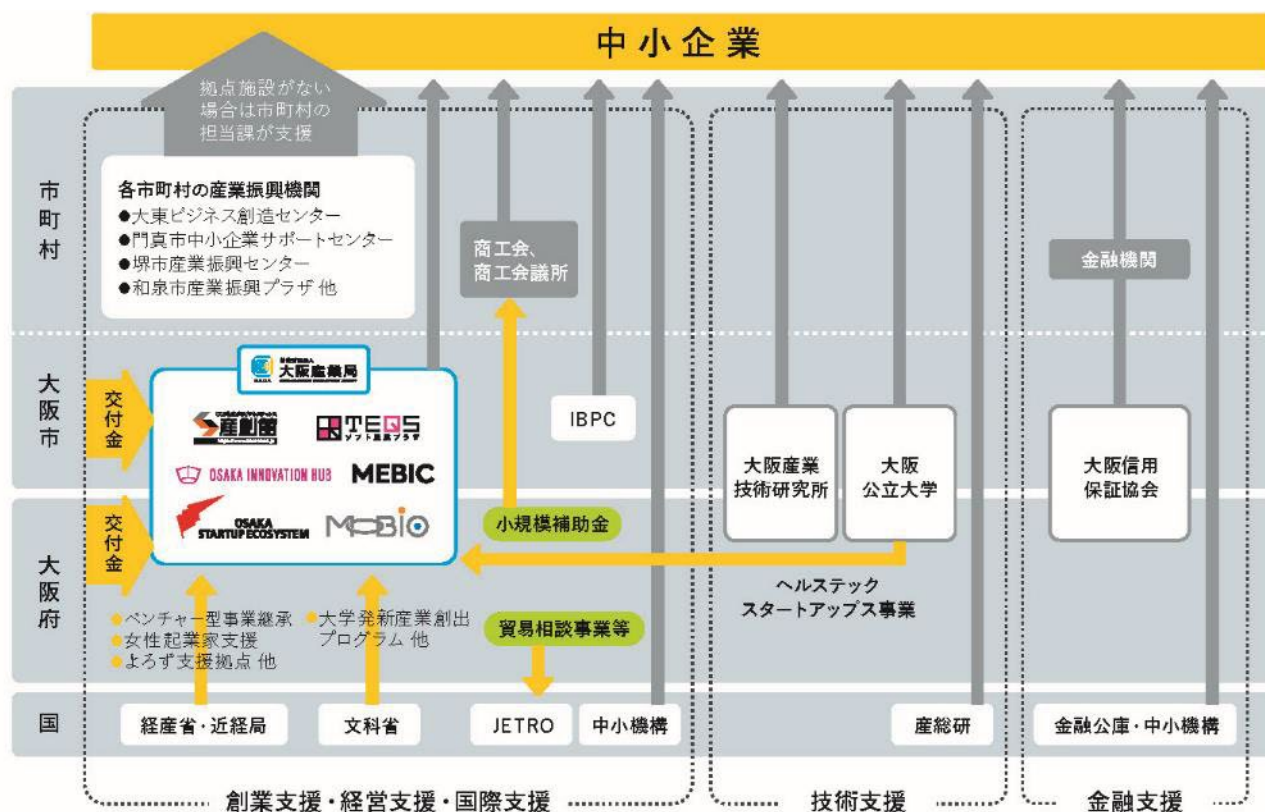
組織が持つネットワーク

2025.3 現在

数字で見る大阪産業局



図解で見る大阪の中小企業支援



メッセージ

大阪産業局の理念



経営理念

グローバル社会の中で、大阪経済の発展をめざし、プロフェッショナル集団として、意欲ある中小事業者・起業家の成長に貢献します。



設立の目的

大阪の中小企業等の経営力強化や創業支援等の事業を行うことにより、府内中小企業等の健全な創出及び育成を図り、もって活力ある大阪経済の発展に寄与することを目的とします。



行動指針

私たちは、「誰のために」「何のために」を常に意識し、行動し続けます。

私たちは、自ら「場」を創り出すチャレンジャーであり続けます。

私たちは、向上心と好奇心を持ち、成長し続けます。

私たちは、謙虚な姿勢で、関わる全ての組織・人とパートナーであり続けます。

私たちは、「ありがとう」を超える「感動」を提供し続けます。

広報スローガン



大阪産業局が 大阪広報局に なるしかない



大阪には、まだ一度もメディアには取り上げられたことのない中小企業が約20万社以上あり、

世の中に知られていない事業や製品という”宝物”が数多く存在しています。

そんな、積極果敢に挑戦し続けている中小企業や起業家の方々の努力や

切磋琢磨し生み出された素晴らしい製品・事業を、大阪の中小企業の「広報担当」として情報発信し、

一人でも多くの方々に知って頂くことが私たちの役目であると考えています。

それがきっかけとなり、中小企業や起業家の方々の更なるモチベーションアップに繋がり、

人と人が繋がり、大阪経済の発展や一歩先行く大阪の未来に貢献したい

という想いでこのスローガンを選びました。

マスコミ関係者の皆様におかれましては、この機会に産業局の取り組みを、

お知りおきいただき、ともに大阪の活性化のためにお力をお貸しいただければ幸いです。

NEWS LETTER

01

2025年大阪・関西万博

「リボーンチャレンジ」の企画・運営



#大阪・関西万博 #リボーンチャレンジ

2025年大阪・関西万博に向けて、公益財団法人 大阪産業局と大阪商工会議所は、共同で「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」を設置。

大阪産業局の万博共創ビジネス推進部は当委員会の事務局として、万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンに設けられた「リボーンチャレンジ」に関する企画・運営を行いました。



提供：（公社）大阪パビリオン 協力：2025年日本国際博覧会協会

万博を通じて大阪府内の中小企業・スタートアップを支援

リボーンチャレンジ

大阪府内の優れた中小企業やスタートアップ400社以上が出展

大阪ヘルスケアパビリオン内に設置されたリボーンチャレンジでは、26週間の万博会期中、毎週展示内容が入れ替わり、432社の大阪府内の中小企業・スタートアップが出展しました。各出展企業はビジネスマッチングやブラッシュアップ等の支援を受けながら、万博に向けて新技術や新製品の開発に取り組み、その成果を披露しました。

大阪産業局を含む支援機関が万博出展企業をサポート



▲6月17日～23日
ソフト産業プラザ(TEQS)
“みんなで考える未来の街プロジェクト”



▲6月24日～30日
大阪イノベーションハブ(OIH)
“明日が楽しくなるまち「スマートヘルスケアタウン」プロジェクト”



▲7月1日～7日
大阪イノベーションハブ(OIH)
“カーボンニュートラルトレジャーハント ～便利な未来を支える技術たち～”



▲7月8日～14日
ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)
“MOBIO大阪パビリオン展示 No/BORdER～国境・垣根・時代・カベを越える技術展～”

大阪産業局においてもソフト産業プラザ(TEQS)、大阪イノベーションハブ(OIH)、ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)がリボーンチャレンジ実施主体として万博出展企業を手厚くサポート。

また、万博共創ビジネス推進部では、リボーンチャレンジへの機運醸成や、出展に関わる各種サポートなど、多岐にわたる支援を実施しました。



▲機運醸成イベントブースの出展

「リボーンチャレンジ広報紙」を発行



2024年12月から全てのリボーンチャレンジ実施主体の企画内容や、出展企業の展示内容を掲載した広報誌「Reborn Challenge Journal」を3回に分けて発行しました。



▲Reborn Challenge Journalはこちら

SNSでもリアルタイムな情報を発信



▲リボーンチャレンジ公式X

リボーンチャレンジでは、HPや広報紙に加えて、SNS(X)も活用して情報を発信。リボーンチャレンジの出展の様子や、出展企業のメディア掲載情報などをリアルタイムで更新しました。

▲リボーンチャレンジ【2025年万博】展示・出展ゾーン公式
@exposaka_reborn

NEWS LETTER

02

大阪製ブランド認定事業



#MADE IN OSAKA, JAPAN #ものづくり

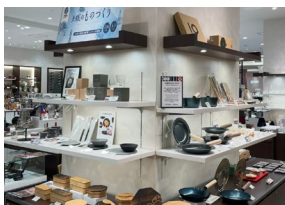


府内ものづくり企業の製品を国内外にPR

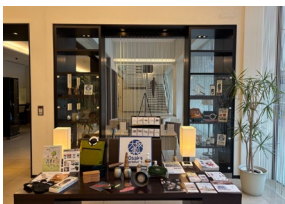
事業の内容

知事がお墨付き！
大阪製ブランド製品

大阪府では、府内ものづくり中小企業の優れた技術に裏打ちされた創造力にあふれる製品を「大阪製ブランド製品」として知事が認定し、大阪のものづくりのブランドイメージを高めるとともに、府内ものづくり企業の自社製品開発を促進しています。大阪産業局では、この大阪製ブランド製品を国内外に発信する様々なプロモーション活動をしています。



▲日本橋三越本店



▲クロス・ウェーブ梅田

160製品以上が認定

日用品からアパレル、そして文具まで幅広い製品

2012年からスタートした大阪製ブランド認定事業は、現在まで161製品が認定されています（2025年1月末現在）。ジャンルは日用品・キッチン用品や、アパレル・ファッション小物、そしてインテリア・家具・雑貨、ビューティ・ヘルスケアなど多岐にわたります。なかでも、ものづくりによる地域活性化や社会課題の解決などに資する、他社の模範となる製品は「ベストプロダクト」として選定されます。



様々なプロモーションを展開

百貨店などへの施設展示やSNSを使ってPR

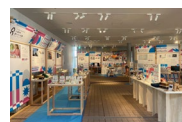
大阪ブランドに認定されると、さまざまなプロモーション支援が受けられます。

(実施例)

- ・認定製品パンフレット（日英併記）を作成し、国内外に配布
 - ・百貨店や商業施設などでの展示・販売を通じたプロモーション
 - ・プレスリリース、ホームページ、SNS等による情報発信
 - ・大阪府及び大阪産業局関係施策などへの推薦（広報誌での紹介、イベント・催事での製品紹介等）
 - ・大阪・関西万博への出展（大阪信用保証協会プレゼンツ Waza Meet up Osaka、大阪ウィーク〜夏〜「みなはれ」ゾーン）
- プロモーション支援により、会社の知名度向上や従業員のモチベーションアップ、販路拡大につながったケースもあります。

大阪製ブランド認定企業が万博へ

2025年5月3日～5月8日、大阪のものづくり企業の確かな技術力を「見て」「触れて」「体験」していただきたいという思いから、大阪・関西万博会場内「ギャラリーEAST」で、大阪製ブランド認定企業20社によるワークショップを開催。自社製品の販売も実施しました。



こんな企業が認定されています

藤原織布有限会社

1934年創業の織物メーカー。牛乳パックの再生紙からできた紙糸を使用した「牛乳パックからできたハニカム織タオル」は、2024年に大阪製ブランドに認定。

有限会社種村建具木工所

創業1956年の建具・家具製作工房。下降の一途をたどる受注難に悩まされる中発案した「彩り障子®」は、2013年に大阪製ブランドに認定。以後、複数製品が認定されています。

最新情報は公式SNSでも発信

X
@Osakaszei_PRInstagram
osakasei

NEWS LETTER

03

DISCOVER MYSELF

女性起業家応援プロジェクト



#女性起業家 #創業支援



事業の内容

女性起業家応援プロジェクト「DISCOVER MYSELF」では近畿2府5県の女性を対象に、全ての女性が起業という選択肢に挑戦できる環境を構築しています。私たちが応援するのは社長ではなく、「起業家」。**【なぜあなたがやるのか】**を徹底的に問い、自分の大切な人や社会のためにビジネスを使って貢献する女性をスケールアップさせていきます。



自分を見つける旅に出よう

企画の狙い

女性が働き方として起業を選択できる社会の創造

110社を超えるサポーター(民間企業、広域支援機関、女性起業家支援団体等)・パートナー(地方自治体、地域支援機関)の皆様と広域的なプラットフォームを形成することで、女性が起業にかかわる相談をできる環境を実現し、継続的な事業成長を応援していきます。

取り組み・結果

日経ウーマンオブザイヤー大賞、経済産業大臣賞など数々受賞



過去11回、1.4万人以上の起業を考える女性と出会い、共に学んできました。ビジネスプラン発表会「LED関西powered by 大阪信用金庫」やエントリーシート提出までにビジネスアイデアをブラッシュアップするアクセラレータープログラム「DOORS」にも力を入れています。これまで、日経ウーマンオブザイヤー大賞や、経済産業大臣賞など多くの評価を得て、日本を代表する起業家として活躍している女性も輩出しています。

参加者の声



LED関西 第11回ファイナリスト

株式会社Mutter

代表取締役 武市 圭

『食べたいものを選べない世界をなくす』LED関西に参加したことで生まれた、私たちの理念です。自分の事業にとことん向き合うことで、それを言語化し、視野や可能性が大きく広がりました。食の制限を価値に変える“フェアフード”をもっと社会に届けたい、未来を共に創りたいという夢に、LED関西は絶対に必要な挑戦でした。



LED関西 第11回ファイナリスト

株式会社ReTaby

代表取締役 坂野 恵里

私は、医療スタッフ監修のユニバーサルツーリズムの事業を立ち上げた段階でこのプロジェクトに参加しました。多様な業種の参加者の方々と共に学び、自身と事業の両面にしっかりと向き合う貴重な機会となりました。LED関西事務局やサポーター企業の皆様からのご支援を頂き、社会課題をビジネススペースで解決したいという思いが一層強まりました。

NEWS LETTER

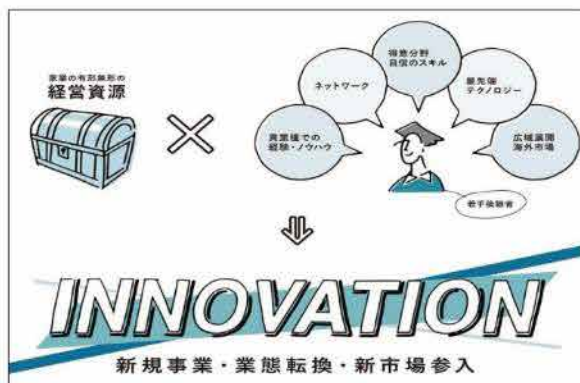
04

ベンチャー型事業承継



起業家・ベンチャーを生み、育てる「エコシステム」の確立

#大阪産業創造館
#新事業創出
#事業承継支援



若手後継者が、家業が持つ、有形無形の経営資源を最大限に活用し、リスクや障壁に果敢に立ち向かいながら、新規事業、業態転換、新市場開拓など、新たな領域に挑戦することで社会に新たな価値を生み出すこと。ゼロから立ち上げる起業家でもなく親と同じスタイルで家業を継ぐ後継者でもない。いわば「ハイブリッド型ベンチャー」です。

企画の背景・狙い

2016年度を初年度とし近畿経済産業局が関西の創業・ベンチャー起業環境整備の加速化のため「地域で起業家・ベンチャーを生み、育てる「エコシステム」の確立」に向けてのアクションプラン取りまとめを公募しました。これに対し、提案の一つとして、事業承継時の第二創業を志す若手後継者支援するリノベーター(ベンチャー型事業承継)支援を提案、採択されました。以後、先代から受け継いだ有形・無形の経営資源を活用し、持続的な経営を実現するために新たな領域に果敢に挑戦し、社会に新たな価値を生み出す若手後継者支援に取り組んでいます。

こんな会社が参加しました

1952年に創業した突っ張り棒メーカー。三人姉妹の末っ子で家業を継ぐ気は全くなく、大学卒業後は新聞記者に。結婚を機に入社し、2015年、社長に就任。収納アイデアを集めたウェブサイトや、突っ張り棒を用いたIoT家電の開発に着手するなど、独自の事業戦略を展開。

平安伸銅工業株式会社

代表取締役 竹内 香予子

妻の祖父が1937年に創業した工具卸を継承。一時は廃業を覚悟するほどの危機に陥るが、日本最大級のアイテム数を誇るネットのホームセンター事業へと業態転換を図る。創業の地、寺町にこだわり、ユニークな採用戦略や風土も特徴。

株式会社 大都

代表取締役 山田 岳人



公益財団法人 大阪産業局 ベンチャー型事業承継担当 Tel:06-4256-3502

NEWS LETTER

05

ゲンバ男子



若い世代に製造業で働く"カッコよさ"を伝えたい。

#大阪産業創造館
#ものづくり支援



ゲンバ男子プロジェクトは、日本経済を支える中小製造業のイメージアップを図り、若手人材の雇用につなげることを目的として2013年10月にスタートした業界全体でイメージアップを図るPRプロジェクトです。

取り組み・結果

日本経済を縁の下から支える人たちが今こそリスpectしたい。

日本経済を縁の下から支える人たちが今こそリスpectしたい。彼らの心意やたたずまいのカッコよさを「ゲンバ男子」を通して発信しています。このプロジェクトは日本各地の製造業集積地の共感を呼び、会津若松市、越前市、岡崎市、春日井市、川崎市、北九州市、佐賀県、新居浜市、浜松市、福山市で各地のゲンバ男子プロジェクトを実施していただきました。

こんな会社が参加しました



株式会社 大京精研

レーザ加工、NCターレットパンチ加工を中心に精密板金・溶接加工を手掛ける。



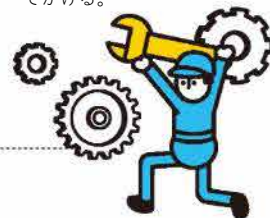
株式会社 福島研磨

ステンレスやアルミ・鉄のTIG溶接や製品の組立てを手がける。



株式会社 京仲

一般板金加工・精密板金加工・試作板金・フレーム製品・製缶・オリジナル商品を手がける。



公益財団法人 大阪産業局 大阪産業創造館「ゲンバ男子」事務局 担当: 脚ノ Tel:06-6264-9922 Email:press@sansokan.jp



公益財団法人
大阪産業局
O.B.D.A. OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY